

研究タイトル

動脈硬化性病変に対する STA-M4 バイパスの治療成績と再発症例についての後ろ向き研究

1. 研究の対象

2016年4月～2025年3月に当院で STA-M4 バイパス(浅側頭動脈-中大脳動脈吻合術)を受けられた方

2. 研究目的・方法

STA-M4 バイパス(浅側頭動脈-中大脳動脈吻合術)は動脈硬化性病変により脳血流が低下している患者さんの脳血流を改善させるための手術になります。脳血流が低下し、貧困灌流となっている患者さんが対象です。これまで数個の大きな研究があり、バイパスの有効性が認められたものは1つであり、手術の適切な時期、どのような患者さんに適しているのか、など確立されていない部分もあります。本研究はこの手術を受けていただいた患者様の脳梗塞再発状況や合併症を検証し、治療法の改良点を見つけることが本研究の目的です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ① 臨床所見(年齢、性別、手術記録、神経症状、高次脳機能検査所見)
- ② 画像所見(CT,MRI, 脳血流シンチグラム, 脳血管撮影)

4. 外部への試料・情報の提供

ありません。

5. 研究組織

国立病院機構南和歌山医療センター脳神経外科
仲河恒志(研究責任者)
西林宏起
伊藤雅矩
石井健次
大江 直

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

資料 4

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

国立病院機構南和歌山医療センター

和歌山県田辺市たきない町 27 番 1 号

TEL: 0739-26-7050

脳神経外科医師 仲河 恒志